



# NPO法人篠山ナマステ会通信

2025(R7)年  
2月1日発行

No.15  
(通巻No.47)



## 丹波篠山とネパールを結ぶ 篠山小で国際理解学習を

出前授業を実施(篠山小学校6学年教室)2024.12.9

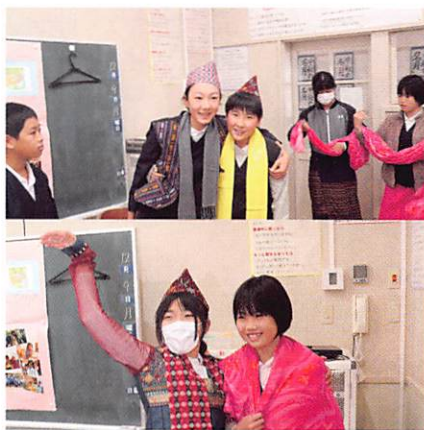
### 小さな一歩が、大きな変化を生み出す

ヒマラヤの懷に抱かれたネパール。その素朴な人々と豊かな自然は、私たちに忘れかけていた大切なものを思い出させてくれます。

本会とネパールとの支援・交流は、学校建設に始まり、地震からの復興支援、子供たちの教育支援、女性グループへの家畜増産支援などの草の根交流を長年にわたって進めています。これらは、決して派手なものではありません。しかし、日々の小さな触れ合いの中に、確かな信頼と友情が育まれてきました。

今年、ネパール食文化に触れる市民講座で「山羊肉カレーづくり」、篠山小学校での出前講座を通じて、国際理解を深める活動をしてきました。

また、ネパールからの元PHD研修生との交流が図れて有意義な機会となりました。



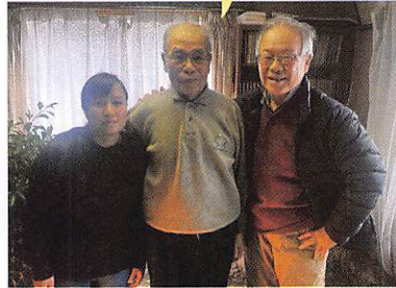
正会員並びに賛助  
会員の皆様には、こ  
れからも引き続きご  
理解ご支援をお願い  
いたします。

代表理事

松本清一

パッサン13年ぶりの丹波篠山です

上田さんと  
写真を見ながら懐かしい  
話をしました



小嶋さん宅  
で宿泊  
一度ネパールに  
行こうかな？



市民センター  
まつりで  
ネパールグッズ  
を販売



元PHD研修生のパッサンさんは、現在愛媛県で介護福祉士として働いています。必要を感じて、認知症についての研修も受けました。また、介護に関する専門用語の翻訳にも取り組み後継者育成にあたっています。遊びに来ていた娘のラマ、ラッサンさんは日本が気に入って日本の中学校に編入し、4月には高校に

進学するそうです。夫のラマディルバハドウルさんも来日し、ようやく家族そろった生活が出来ています。  
日本と同様に、ネパールでの高齢者問題も課題です。日本での知識や技術がネパールで生かせることを願って頑張っています。

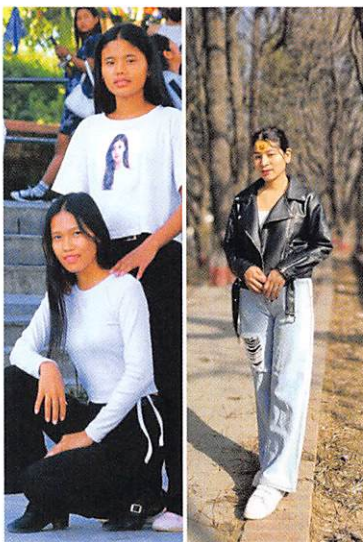
大きくなりました！

2014年にセティディビ小学校で撮影した子どもたちの写真を20周年記念誌に掲載していました。パッサンさんが「この子たちの中に日本に来ている子がいます」と。驚きでした。連絡がつくとこの事で教えてもらいました。



右から2人目が日本に

この年の卒業生は11人でその内のビスヌマヤタマン、ラディカラマとソスティカタマンの3人が東京に来て、日本語の専門学校に留学しているそうです。セティディビ小学校には篠山ナマステ会など日本人が訪問することが多く日本への憧れをいだいたのでしょうか。  
丹波篠山でセティディビ小学校の同窓会が開かれると嬉しいですね。



ビスヌ マヤ タマン (立っている方で写真の子)、ラディカ ラマ (座っている方) ソスティカ タマン (右側)

# アルナ・コイララ通信員からの報告

SSSはセティディビ学校の子どもたち10人に制服とバッグを提供しました。彼らは順調です。

また、スリジヤナ・サルキさんに代わり、私が女性



グループの会議の運営にあたることになりました。これまでSSSは女性グループのメンバーにヤギ5頭、豚3頭、水牛1頭の資金を提供してきました。女性グループとメンバールのプログラムの進捗状況の詳細と財務状況については後日報告します。

## 世界の人権課題を学ぶ ネパール過疎問題 どう生きていく？

特定非営利活動法人篠山ナマステ会人権啓発紙 2024 冬号

世界の人権課題を学ぶ

### ネパール過疎問題 どう生きていく？



丹波篠山でもいよいよ少子化や人口減少を実感するようになってきました。そして、この問題は、アジアの農村部でも進み始めています。

今回は、篠山ナマステ会が関わるネパールにおける過疎と頑張る女性たちについて改めて紹介します。



#### なぜネパールの山村で過疎が進んでいるの？

長年貧困問題を抱えるネパールでは、政府の進めた家族計画や教育向上により女性が産む子供の数が過去数十年にわたり確実に低下しています。また、経済状況が悪くて出稼ぎが増え、若者が都市部や海外にどんどん流出しています。特にその傾向は農山村部で明らかです。

さらに、篠山ナマステ会が関わるガハテ村周辺では2015年発生の大地震の影響もあり、女性と高齢者が村を支えざるを得ないようになってきました。



20年前のセティ・ディビ小学校  
校庭での授業

#### 過疎の影響① 小学校の統合

多くの丹波篠山市民の浄財で2002年に建てられたガハテ村のセティ・ディビ小学校は、当初教室に入りきれない子どもが喜んで学んでいました。しかし、急激な少子化で、昨年より小学部が隣の学校へ統合され、現在では幼児教育(幼稚園)のみが行われるようになってきました。

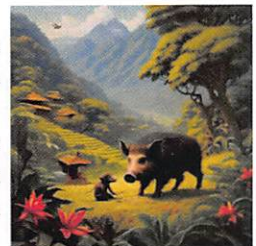


現在のセティ・ディビ小学校

#### 過疎の影響② 獣害

ネパールの山間部では、山を開いて小さな畑を作り主食のトウモロコシが栽培されています。また、燃料や資材用に山の木をよく活用してきました。

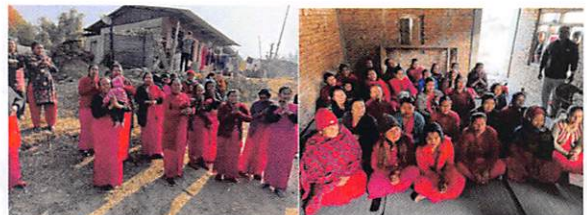
しかし、耕作できない畑が増えて木々が茂る場所が増えてきています。すると、そこにイノシシや猿が住みついて畑を荒らしにくることが増えてきているようです。聞いたことのあることがネパールでも起こり、深刻な問題になりつつあります。



#### 残された女性たちが力を合わせる 小さな組合で村を守る

日本の農村の過疎を支えてきたのは農業協同組合だと評価されています。一方ネパールでは、日本のような農協が発展していません。そこで、各村の女性たちが僅かの出資金を持ち寄って小さな組合をつくり活動を始めています。出稼ぎの家族からの仕送りがけでは足りない生活費を得るために、ヤギや水牛を飼養し、生活費・事業資金の貸し出し事業を行っています。住み慣れた村で暮らし続ける、そんな人としての権利を守ろうと頑張る女性たちは逞しいです。

篠山ナマステ会は、離れていてもそんな女性たちと一緒に暮らしていきたいと活動をしています。



発行: 特定非営利活動法人 篠山ナマステ会  
法人番号:2140005023377 兵庫県丹波篠山市中野 129 番地  
篠山ナマステ会では現地 NGO の SSS などと協力して教育支援活動や女性グループ支援活動などを行っています。



## 2024年度 NPO法人篠山ナマステ会のあゆみ

月	日	内容
4	1	会計監査、4月定例理事会
	27	NPO法人篠山ナマステ会総会
5	11	5月定例理事会
6	8	6月定例理事会
7	6	7月定例理事会
	27	市民プラザ「せや! フリマイこっ!!」に出店
8	2	ネパール市民講座「山羊肉カレーづくり」開催
		8月定例理事会
9	14	9月定例理事会
10	1	広報紙「NPO法人篠山ナマステ会通信」第14号発行
	23	ビショさん、テクさん来丹波篠山
11	9	11月定例理事会
	19	出前講座打ち合わせ(篠山小)
12	8	市民センターまつり説明会&セミナー
	9	「第22回人権フェスタin丹波篠山」にパネル展示で参加(→15)、人権啓発紙2024冬号「ネパールの過疎問題 どう生きていく」発行
		出前講座(篠山小)
	22	市民センターまつり参加、12月定例理事会
2	1	2月定例理事会
		広報紙「NPO法人篠山ナマステ会通信」第15号発行
	22	味間ふれあい館交流会展示で参加
3	1	3月定例理事会



### 新会員紹介

正会員 畑中啓太 (丹波篠山市)  
賛助会員 金井拓男 (丹波篠山市)



NPO法人  
篠山ナマステ会



■事務局  
〒669-2213  
丹波篠山市  
中野129

### ■ 会費や寄付金の振込口座案内 ■

・三井住友銀行 392-3960328  
・JPゆうちょ銀行 00930-7-332918  
・JA 丹波ささやま 店舗番号 7362-002  
口座番号 0050991

### 案内

## 令和7年度総会開催について

日時 4月27日(日) 13時30分

場所 丹波篠山市民センター 2階催事場

### ●ネパールを語る!

総会後は、パネルディスカッションをします。  
増岡ショーバナさん、ビショさん、パッサンさんが登壇し、ネパールのくらし、日本のくらしについて話を聞きます。  
多数ご参加ください。

この通信は、HIAの「民間国際交流事業助成金制度」を活用して発行しています。